

# 進化する、住民による

# まちづくり

まちづくりセンター  
自主運営二周年の  
元町地区を訪ねる

地域では、みんなが安心して快適に暮らしていけるよう、住民の手でさまざまなまちづくり活動が行われています。今回は、住民自らがまちづくりセンターの運営を行う東区・元町地区に着目。活動を支える二人へのインタビューを通して、より良い地域をつくるヒントを探ります。

このページに関する  
お問い合わせは  
市民自治推進課 ☎211-2253

## まちづくりセンター(まちセン)とは？

まちセンは、市内に87カ所。町内会やボランティア団体などの地域団体の連携を深めたり、情報提供を行ったりすることで、地域のまちづくりを支援しています。住民票などの諸証明の取り次ぎも行います。

例えば、こんなときはまちセンへ

子育てで悩んでいます

地域のイベントが盛り上がり  
がなくて困っています

地域の子育てサロンを紹介。  
また、民生委員などを通じ相  
談に乗ります

地域内外から協力してくれ  
る団体や人を紹介するなど、  
改善策と一緒に考えます

## 自主運営という選択

通常のみちセンは、市職員が所長となり運営しています。しかし、平成20年から、住民自らが所長や職員として運営を行うまちセンが登場。現在、7カ所で住民による自主運営が行われています。市からまちづくり活動の資金として地域交付金などが支給され、まちセンを拠点に住民が地域の実情に合ったまちづくりを展開しています。



元町ふれあい祭り

子どもからお年寄りまで大勢の住民でにぎわう元町一のお祭り。ゲームや昔遊びなど住民の創意工夫がいっぱい。

### インタビュー

## 地域の住民が連携を深め、活動がまち全体に広がる

地域を良くするため、自主運営を決定したそうですね。

島田会長（以下、島田）

はい。自主運営をしませんかという市の呼び掛けがあった当初は、「まだ早い」「仕事が増える」などいろんな声がありました。そんな時、当時のまちセン所長の助言で、地域で勉強会を開きました。そこから前進しましたね。

星事務局長（以下、星）

以前から元町では、町内会や学校などの地域団体で「子どもはばたき会議」を結成し、子どもを不審者から守る活動をしていました。勉強会を始



元町まちづくり  
協議会会長

しまだ こうぞう  
島田 孝三郎  
さん

元町のさまざまな地域団体にかかわり、住民から厚い信頼を集める。

や活動の資金として地域交付金が出ますが、それを地域のためにどう有効に活用していくかが重要です。

島田 具体的な活動は、協議会の三つの部会で決めています。例えば、子どもの行事を企画するときは、子ども部会でどうしたら喜ばれるもの

果が生まれていますね。

島田 ごみでも除雪でも何か課題があったら一緒に取り組もうという連帯意識が強くなりました。最近では、住民自ら良い情報を見つけてきては、

